

媒体名

健康産業流通新聞
(健康産業流通新聞社)

掲載日

2008年6月28日

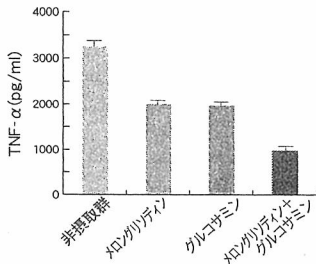
タイトル

特集「コラボレーション素材特集」

ニユートリシオン・アクト

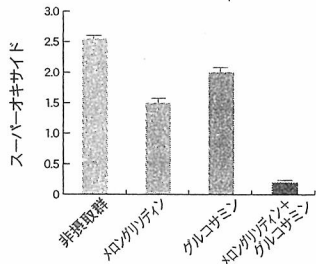
(株)ニユートリシオン・アクト

(東京都港区)が原料供給・OEMで提案する「メロングリソディン」。同素材は、南仏アヴィニョン地方原産ウォークルシアン種メロンを品種改良し、抗酸化力を高めたメロンから抽出したSODを主成分とした抗酸化酵素誘導素材だ。SODは元々関節リウマチの治療薬としてヨーロッパで使用されてきた実例があり、メロングリソディンは関節炎に対する作用が確認されている。さらに、その作用は、グルコサミンとの併用でより高まることも報告されている。



メロングリソディン + グルコサミン

炎症性サイトカイン等を有意に抑制



用いた試験で明らかにされたもの。メロングリソディン及びグルコサミンの併用摂取群、非併用群、プラセボ群に分けて二八日間飼育。飼育期間終了後、炎症部位の免疫細胞による炎症性サイトカインや活性酸素種の自然産生能を計測した。その結果いずれの投与群においても炎症性サイトカインであるTNF-αや各種活性酸素の産生を抑えることが確認されたが、その効果は併用群が最も高かった。

ニユートリシオン・アクト社によると、このエビデンスに基づいたOEM製品の実績が複数ある。「リビートの高付加価値商品としてクロスドマーケットで成功しています。メロングリソディンは誘導された酵素が直接炎症に対して働きかけるため、グルコサミンにメロングリソディンを組み合わせたことで体感が高まります。」(企画営業部長、小野里哲男氏)とごう。